

69 期生

3年生学年だより

豊中市立第五中学校 2022年6月17日(金) No.11



「^{こうこう}高校^{じゅけん}を受験する」ということ^{ひとり}～一人ひとりの^{しんろじつげん}進路実現^にお^けて～

13日(月)に箕面自由学園高等学校で校長先生をされている田中良樹先生を講師としてお招きし、「高校を受験する」というテーマで講演をしていただきました。ご自身の高校受験の時の話から、おすすめの勉強法まで幅広くお話していただきました。「幸せとは、自分自身で感じるもの。失敗体験が大きな宝物になる。挑戦することをためらって

はいけない。」というお言葉は、大変励みになりました。

修学旅行が終わったところでまだ疲れている様子の方もいましたが、進路に向けて気持ちが一層高まったように感じました。感想を一部掲載します。

「楽しんで勉強する」ために 伸びる生徒共通の3つの行動パターン

- ① 他人の話を素直に聞くことができる。(必ずメモを取ること。)
- ② やらなければいけないことを何よりも優先して実行する。
(何か自分に言い訳をして、やるべきことをあとに回す)の反対
- ③ ONとOFFの使い分けを計画的に出来る。(生活のアクセントを)
やるときはやる、休むときは休む。中途半端・ながら勉強はダメ!!
場当たりのOFFの取り方はダメ。計画的にOFFを取る。

田中先生おすすめの勉強法

25分間集中!

- ① やるべきことを前もって書き出しておこう。
- ② やる気をだすおまじないを考えておこう。
- ③ すきま時間の活用 「10分しかないから～出来ない」から
「10分もあるから、～しよう」という発想の転換
- ④ 25分間(集中)学習法 25分間思いっきり集中してやる。
- ⑤ まちがいノートを作る。定期・実力テの間違った問題のやり直しは必ずすること。
- ⑥ スマホとの付き合い方。





みんなの感想より♪（一部抜粋）

私は進路講演会を聞いて、実践しようと思ったことは、なんらかのすき間時間、5分・10分でも勉強すること、25分学習、5分休憩を繰り返し集中すること、まちがいノートを作ることです。私の集中をさまたげる物はスマホなので、校長先生がおっしゃったように、箱などを用意して、違う部屋に置いたり、親に預けたりなども実行します。今日の朝から修学旅行などの学校行事で疲れていて、授業に集中できず、切り替えられなかったのですが、校長先生のお話を聞いて、切り替えができ、これからどうしていこうかも自分の中で考えがつかしました。

もうテストが2回も終わってしまったけど、今からだから、まちがいノートはよいと思った。でも、まとめるのが少し難しそうに感じられました。でも、スマホを「サウルナBOX」に入れるのは、今からでも実行できそうだと思います。私は、友達が来る前にバタバタしちゃうけど、7:30に起きないで余裕を持って準備をし、英語の単語を覚えようと思いました。家では邪魔なものが多いので、塾の自習室で25分+5分をやってみようと思いました。今まで学校の先生や塾の先生、たくさんの大人や先輩の意見を聞いてきたけれど、そんなに重みやありがたみを感じていなかった。だから、これからはしっかりと聞いて、自分のものにしていきたいと思いました。テストが教科書から出るなんて思っていなかったので、教科書がとても輝いて、価値のあるものに見えてきました。

私の中での受験勉強は「1日に最低でも2・3時間する」というイメージがあったのですが、この講演を聞いて、受験勉強に対する考えが変わりました。まず、「楽しんで勉強する」という考え方がありませんでした。それに、やはり勉強を楽しむのは難しいなと思いました。ですが、目的を書き出したり、おまじないを考えるなど、たくさんのやることがあれば「自然と勉強を楽しむことができる！」と思いました。そのうえ、入試問題は学校の教科書やテストから出ると聞いて、より受験勉強をするやる気ができるようになりました。これからの勉強の仕方は、何時間もかた苦しくするのではなく、気軽に休憩をはさみながら集中するといった勉強を心がけてしようと思いました。

自分でも何をしたらよいのかという迷いがあったので、とても参考になりました。自分の心に響いたのは、プリントの裏の一番下に書いてあった「挑戦すること」という言葉でした。自分は、この言葉通りできておらず、逆のことをしていました。一という言葉ではなく、十の言葉にしていこうと思いました。自分では気づかなかったことに気づかせてくれて、ありがとうございます。





今まで本気で受験について考えたことがなかったですが、お話を聞いて甘く考えていたらだめだなと改めて思いました。自分の中で勉強とは、頑張っても大人になっただけ使わないし、そんなことをするんだったら部活や家の手伝いとか、好きなことをしていた方がいいと思っていました。けれど、まだ経験したことがないのに勝手に自分で判断して、あきらめて、勉強が得意な子がいたら、もともと頭がよかったんやろなと思って自分の考えに後悔しました。今回話していただいたことは、考え方もそうだし、行動の仕方も自分とは反対で今までもできることがあったのに、後回しにして自分の首をしめてきたんだろうなと思っていました。勉強って楽しくないし、面倒くさいけど、前向きに頑張って理解できたら、楽しくなっていくもんだなと思っていました。

失敗をするのは恥ずかしいし、周りに知られたくないけど、失敗から学ぶこともあるんだなと思っていました。

実際、勉強は嫌いな方ではあります。受験をして、高校に行って、就職または大学受験をして、そこから生きていくために働く。何というか、決められた道でもあり、そこから外れるとなるとさらに厳しい道になるとおもう。その決められた道を楽しめる人になりたいとは思っていましたが、親を見るとそう簡単に楽しめる道ではない気がします。田中先生のお話で、「楽しんで勉強する」という勉強法を説明していました。このお話を聞いて、勉強だけじゃなくて、人生にも当てはめることができるんじゃないかと思いました。やっぱり人生は楽しんだものが勝ち。一つの受験という壁で立ち止まるんじゃないくて、これからの厳しい道を楽しむために、勉強を楽しむことが必要じゃないかと、今回のお話で考えさせていただきました。正直、私は将来やりたい職業、なりたい自分をまだ決めていません。それでも、これからの道のために、少しでも勉強へのモチベーションが上がりました。

田中先生の勉強は、かけた時間ではなく、中身というのがとても心に残った。私自身、ONとOFFの使い分けができていなかったのも、今一度見直そうと思った。何回も受験は必ずこの日とおっしゃっていて、それまでの時間をどう過ごすか考えるよい機会だと思った。私は、受験がなるようになると本当に軽く考えていたと思う。だが、高校は義務教育ではないため、絶対に受かるわけではないという、当たり前だけど忘れていたことに改めて気づかされた。いただいたプリントの一言一言が本当にためになりました。

